

平成 30 年度 横浜地区重点目標

1. スカウト教育の効果的な運営方法を実践し、地区・団の活性化を図ろう
2. 地域に根ざした活動を推進し組織拡張・広報活動の充実を図ろう
3. 第 17 回日本スカウトジャンボリー(17NSJ)に向けて準備を進める
4. 横浜地区創立 50 周年(2022 年)に向けて準備を進める

1. スカウト教育の効果的な運営方法を実践し、地区・団の活性化を図ろう

(1) 平成 29 年 9 月 1 日より、ボーイスカウト・ベンチャースカウト部門の進級課程が改定されます。これは、活動で自立したスカウトを育てるため、スカウト活動の一貫性、累進制を鑑み、進歩の継続性を重視したもとするため、現行の BS 部門と VS 部門の進級課程を一本化し(6 段階)、すべての進級章を取得し、もっとも高いレベルの富士スカウト章を目指す制度です。また 世界スカウト機構(WOSM)が、よりよい教育の提供と危害のないスカウト活動の環境を整えるための「セーフ・フロム・ハーム」を定めました。(平成 29 年度から登録制度へ導入)。これからの運営手法を正しく認識して実践するため、地区事業展開の見直し、各団・各隊のボーイスカウト活動の活性化支援に取り組みます。

(2) 各委員会

スカウト対象の事業の開催を通じ、スカウトの技術の向上や、新たな進歩制度を基盤とした進級・進歩の促進を図ります。また、指導者向けには新たな研修の取り組み、「セーフ・フロム・ハーム」の導入と研修について、より一層充実した事業を展開してまいります。これらの事業を通じ、スカウト及び保護者に対して、スカウト活動への満足度を高めるとともに、隊・団指導者への個別支援の推進や、活動の実践に役立つツール及びプログラムの提供を行い、スカウト数の減少に歯止めを掛けるよう支援することとします。

2. 地域に根ざした活動を推進し組織拡張・広報活動の拡充を図ろう

(1) 各団と緊密な連携を図り、行政区や各種団体等のイベントにおいて、ボーイスカウト運動の広報活動を更に深化させ、取り組んでいきます。新たな取り組みとして、横浜地区広報誌作成に向けた情報収集を行い、広く一般への情報発信に取り組むこととします。

(2) 各委員会

各委員会・各団との緊密な連携を図り、行政区や各種団体等のイベントにおいて、ボーイスカウト運動の広報活動を更に進化させ、取り組むこととします。地区広報誌については、各団のイベント情報、地区行事・進歩の報告・表彰等を含めた内容の情報発信として取り組むこととします。

3. 第 17 回日本スカウトジャンボリー(17NSJ)に向けて準備を進める

2018 年夏季に開催される 17NSJ(石川県珠洲市)に向け、地区内に実行委員会を設置し、各種準備を進めていきます。

4. 横浜地区創立 50 周年(2022 年)に向けて準備を進める

2022 年度は横浜地区創立 50 周年になります。創立 50 周年誌及び記念事業として、第 6 回横浜地区キャンポリー開催にむけ各種準備を進めていきます。